

近郊版



川沿いの道
鳥居規之
二科会

ニュース、情報は下記へ
社 会 部
052-231-1650・5919
Eメール

shakai@chunichi.co.jp

春日井支局 〒486-0844
春日井市鳥居松町3-60
0568-81-2036 Fax81-2797
犬山通信局
0568-61-2612 Fax61-2613
小牧通信局
0568-72-1177 Fax72-6530
瀬戸支局
0561-82-3121 Fax82-5316
一宮総局
0586-72-4545 Fax72-5035
江南通信部
0587-54-4001 Fax54-9622

中日新聞へのご意見は
読者センターへ
052-221-0800 Fax221-0819
Eメール

center@chunichi.co.jp
掲載写真を購入希望の方は
最寄りの中日新聞販売店へ

わが街ぶらり探訪

近代以前の「製鉄」といえば、ジブリ映画「もののけ姫」のたたら場を思い浮かべる人も多いだろう。女性たちが大きなふいごを踏んでつくっているアレである。古代では出雲や備前など、中国地方を中心として製鉄が盛んだったことも有名だ。実はその製鉄に関する遺跡が、春日井市にもあるのを知っているだろうか。

(高岡涼子)



「この下に西山遺跡が埋まっている」と説明する小木曾さん=いずれも春日井市西山町で

謎多き古代の製鉄炉

同市西山町のやぶをこいでいくと、開けた土地が現れる。「西山遺跡」だ。元々は西山製鉄遺跡と呼ばれていたが、製鉄炉以外に铸造関連遺構も発見されたため、名称が変更された。小牧市から続く篠岡丘陵の麓に位置する。二ヶ弱北西にある、小牧市下末の狩山戸遺跡に次いで県内二例目、現存する製鉄遺跡としては唯一となる。

西山遺跡が発見されたのは二〇〇四年。発掘以前から、製鉄の段階で発生する不純物の塊「鉄滓」が多い土地柄だった。当時畑だった場所を宅地造成する際、製鉄の歴史について研究する市民団体「春日井たたら研究会」の申し出を受けて市教委が調査したところ、長さ二・七メートル、横一メートルの製鉄炉跡があるのが分かった。操業は八世紀初めと考えられ、炉側面の石組みの保存状態が良い点特徴だ。さらに、製鉄炉から三メートル離れた場所には铸造関連遺構と鑄型が発見された。同研究会の小木曾正明さん(六八)は「発見された炉の西側にある竹林も、石組



西山遺跡



遺跡から出土した鉄滓

みの隙間から大量に鉄滓が出てくる。周辺にもまだ遺跡が残っているのではないかと推測する。

明のままだ。遺跡周辺には作業所や送風設備などが見つかっており、現在、遺跡は埋め戻されているため、その姿を見ることはできない。小木曾さんは「西山遺跡は全国的にも製鉄の歴史をひもとく貴重な史料。ここがものづく

かつて篠岡丘陵一帯は、雨が降ると黒い竜が天に昇るかのようになり砂鉄が筋となって流れ出るほどの地質で、発掘当時は砂鉄を原料に製鉄がされていたと考えられていた。しかし、春日井市遺跡発掘調査報告「西山遺跡」(一七年)によると、鉄滓の構成成分から、砂鉄ではなく鉄鉱石を原料に製錬していたことが分かったが、その産地は不

明のままだ。遺跡周辺には作業所や送風設備などが見つかっており、現在、遺跡は埋め戻されているため、その姿を見ることはできない。小木曾さんは「西山遺跡は全国的にも製鉄の歴史をひもとく貴重な史料。ここがものづくりに愛知の原点かもしれない。史実を明らかにしてもっと広く価値を知らしめることで、市民が遺跡に、そして春日井に誇りを持てるようにしたい」と語る。